

入学案内 2025

新渡戸文化小学校

学校見学ガイド

学校説明会の日程は、右記の通りです。
ご参観いただける学校行事もございますので、
ぜひ見学にお越しください。

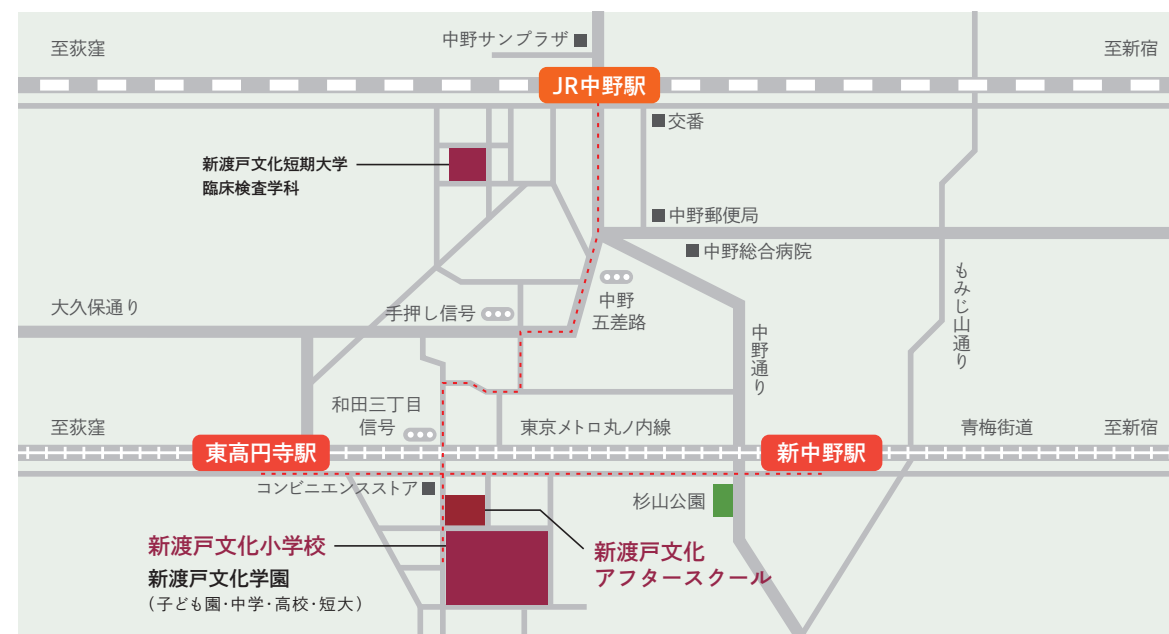
- 学校説明会は予約制になります。ご希望の方は、
ホームページよりお申し込みください。
- この他にも見学できる学校行事がございます。
詳細はホームページでご確認ください。

学校説明会（全て2024年）

第1回	2/10（土）	10:00～11:00	オンライン開催
第2回	4/12（金）	19:00～20:00	オンライン開催
第3回	5/9（木）	9:30～10:30	授業公開
第4回	6/15（土）	9:30～11:30	学校説明会&校内見学
第5回	6/20（木）	9:30～10:30	授業公開
第6回	7/3（水）	15:30～17:00	アフタースクール公開
第7回	9/14（土）	9:30～11:30	学校説明会&プレ小学校体験
第8回	11/23（土）	9:30～11:00	好きなこと入試説明会

アクセス

東京メトロ丸ノ内線「東高円寺駅」から徒歩5分、「新中野駅」から徒歩7分
JR中央線・東京メトロ東西線「中野駅」から徒歩15分



主な駅からの所要時間

〈JR線ご利用の場合〉

新宿駅 ▶ 中野駅 約4分

〈東京メトロ丸ノ内線ご利用の場合〉

新宿駅 ▶ 東高円寺駅 約8分

荻窪駅 ▶ 東高円寺駅 約6分

〈その他〉

練馬駅 ▶ 東高円寺駅 約23分

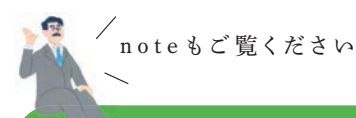
バスなどを利用することも可能です。



新渡戸文化小学校

新渡戸文化アフタースクール

〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1
TEL:03-3381-0124 FAX:03-3381-0125
www.el.nitobebunka.ac.jp



新渡戸文化小学校
公式note



併設校：新渡戸文化子ども園／新渡戸文化中学校／新渡戸文化高等学校／新渡戸文化短期大学





「しあわせ」を つくる人になろう。

自律した学びで、
自分とまわりの“Happiness”を創り出す

新渡戸文化学園では、初代校長・新渡戸稲造の

“世に生まれ出でたる大きな目的は、人のために尽くすことにある。

自分が生まれた時より死に至るまで、周囲の人が少しでもよくなれば

それで生まれた甲斐ありというもの”という言葉から

「Happiness Creatorの育成」を教育目標にしました。



自分が、たのしいと思うこと。
誰かが、うれしいと感ずること。
そして、世界中のみんながすてきな思いを持ちながら、
毎日をすごせること。

ここは、
そんな「しあわせ」をたくさんつくれる、
未来の大人になるための学園です。

NITOBE's keyword 1

確かな 基礎学力を持った 自律した学習者に

自分で学ぶ目的を持ち、
自分で問いを立てて探究へと進んでいく。
本校では、そんな確かな基礎学力を身につけた
「自律型学習者」の育成を目指す
教育を掲げています。

NITOBE's keyword 2

“やりたい”からはじまる 授業やプロジェクト

子ども達の中から湧き上がってくる
“やりたい”を出発点にして、
主体的に取り組む“プロジェクト型学習”。
「もっと知りたい」「学びたい」を、
体験によって伸ばします。



NITOBE's keyword 3

社会と向き合い、 社会に生きる力を獲得

IQや学力テストでは測ることができない、
社会で生きていく上で不可欠な「非認知能力」。
社会と向かい合うさまざまな学びを通じ、
積極的に能力向上を目指していきます。

公益財団法人 ソニー教育財団 主催

ソニー子ども科学教育プログラムの
科学が好きな子どもを育てる
教育実践論文

優秀校 受賞!!

自律的な学習者を育てる授業デザインとして、プロジェクト型理科学習と自由探究学習「WonderTime」が、ソニー子ども科学教育プログラムの「科学が好きな子どもを育てる教育実践論文」にて、優秀校として選ばれました。プロジェクト型理科では、子どものわくわくを引き出すアウトプットデザインで、理科学習を題材にして、自律や他者とのコミュニケーションなどの非認知能力の育成も促す学習を目指しています。子どもの「好き」・「気になる」という学びの原点である知的好奇心を刺激して、子どもが自ら学ぶ、教科書に縛られない自由な学びのデザインへの挑戦が、高く評価されました。





カリキュラム

自ら問いを立てる、 考えぬく



“Happiness Creator”に つながる「12の学習者像」

小学生にもイメージが伝わるように、ひとつひとつの言葉を厳選して紡ぎ出しました。学年・クラスの目標や、通知表の生活評価の指針にしたり、日頃の教育活動に生かしたりしています。



“好きを大事にする人”
ってどんな人？

自分が夢中になれることや
心地よく思えることを知り
それを愛せる人



Core Learning

夢を実現するための 確かな基礎学力

自分のしたいこと・叶えたいことを実現する力を身につけるために、基礎学力の習得は着実にこなします。従来の学習様式に加え、学習成果を創作的な活動で表現することで、より深い学びにつなげます。

iPad・ICTを活用した学び

ICTデバイスは、単にインターネットで調べ物をしたり、プレゼンスライドを作るための道具ではありません。子どもたち全員の考えを瞬時にプロジェクターに映し出す。学校内で出会った自分だけの発見を、キャプチャして友達に共有する。「学びの可能性を広げるツール」として、ICTだからできる学び、ICTがないとできない学びを展開しています。

理科で学んだ魚の生態をイラストで描いたり、歴史の一幕を絵本にしたり。新渡戸文化では、学んだ内容をクリエイティブにアウトプットすることで、子どもたちの学ぶ意欲を引き出し、学習効果を高めることを目指しています。iPadは、そのような創造的な活動を力強くサポートしてくれます。



4年生社会科『水はどこから』
水道水がいろいろな人や施設、自然に支えられて作られていることを学んだ子どもたち。実際に「東京水」として売られている水道水のオリジナルラベルを考えました。



個人探究「WONDER TIME～direct～」

直接「見たり」「聞いたり」「やってみたり」…自分の好きなこと・関心のあることについて探究する過程を通して、社会課題を自分ごととして捉えていきます。

Theme

世界のシェルター調べてみた

夏休みの旅行で韓国に行った際、シェルターを兼ねた駅があちこちにあったことが気になった橋口さん。身近な国でシェルターが普及していることを知った彼は、海外にはいろいろなシェルターがあるのでは？と仮説を立て、自ら本やインターネットを使って調べてみたそう。戦争のニュースに対しても見方や考え方が変わってきたようです。



気になることがあったら
自分で調べてみよう！



Theme

薬剤について

錠剤や散剤、カプセル、シロップ…普段私たちが何気なく飲んでいる薬の色や形って、なぜこんなに違いがあるのだろうか？と疑問に思った羽根さん。薬のミュージアムに足を運び、薬の起源や作り方、それぞれの特徴を学びました。新薬の開発にも興味を広げ、医療現場で働くおうちの人と対話をするようにもなりました。



みんなはどんなことに
興味があるかな？





プロジェクト型学習

学びに夢中になる。
忘れられない学びになる。



つくって学ぶ。自ら学ぶ。 新渡戸文化の「プロジェクト型の学び」

新渡戸文化の教科の授業で目指しているのは「プロジェクト型の学び」。一番の特徴は「つくることで学ぶ」を重視することです。

授業の中で子どもたちは作品づくりに挑戦します。作品を完成させるためには教科の知識や概念が必要になるように設定されているため、子どもたちは自ら学んでいきます。「もっとあれが知りたい!」「これを理解しないと!」「次はこうしてみよう!」そんな、自律的に学ぼうとする声が聞こえてくるのが新渡戸文化の教室です。

こうして出来上がった作品は、子どもたちにとって宝物。子どもたちにとって“忘れられない学び”が生まれていきます。



新渡戸祭でのプロジェクト科の様子をYouTubeで公開中!
<https://youtu.be/SeZyOUIx4W0>



Focus 01 6年生・見えざる檻

政治の仕組みを 立体作品で表現しよう

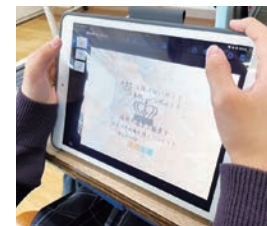
「日本国憲法」と「三権分立」を学ぶ単元で行ったのは、政治のモデル化というアウトプット。

まずは3人チームで日本国憲法の三原則を学び、パネルを制作。それを組み合わせて小さな檻を制作します。これは立憲主義の根底にある「憲法とは権力者を制限するものである」という考え方を表現しています。さらにその檻の中

には、日本の三権である国会・内閣・裁判所を3人でキャラクター化して配置。お互いがどのように牽制しあっているかもポーズや道具で表現します。どのチームも保護者を相手に自信をもって、憲法の意義と日本の権力構造について語れるようになりました。

夢中でつくったからこそ、教科書以上に学ぶことができました。

日本の三権を
キャラクター化!



iPadを活用しながら、立憲主義を表現したキャラクターや檻を細部までこだわって制作しました。

プランツすごろく
完成したよ!



チームを組み、テーマに沿ってアイデア出しを行っている様子。

Focus 02 5年生・プランツすごろく

発芽と成長の過程を 「すごろく」を作ることで学ぶ

理科の授業をプロジェクト型にデザインした「プランツすごろく」。植物の発芽と成長の条件を満たしながら、ゴールを目指す「すごろく」をチームで作るプロジェクト。すごろくを作るためには、それぞれの条件を知らなければなりません。発芽に必要な水や空気などのカードを手に入れたり、成長を妨げる害虫から植物を守ったり。

調べて分かったことをすごろくに落とし込むことに苦労しながら楽しんでいました。

どの植物をテーマにするのかを話し合い、調べてアイデアを出し合い決定します。チームを作って進める過程では、分担や相談、協力し合い、高めあうことなど、チームで取り組むからこそ大切に、成長できることがありました。

Focus 03 2年生・自分を表現する「にとコレ」

自分を表現する服で 自由にランウェイを歩こう

「にとベコレクション」、略して「にとコレ」。生活科の学習で、1学期に「雨を楽しむ服」を作りました。そこから着想を得て、自分たちでファッションショーを作ろうと、「自分の好きなものや、得意なこと」をテーマに服を作りました。好きな絵を描く、フードやポケットを付ける、リボンや小物で装飾をするなど、表現の仕方は

十人十色。ファッションショー当日は、音楽、照明、撮影を全て自分たちで行いました。自分の作った服を身にまとい、思い思いにランウェイを歩き、さまざまな表情でポーズを決める子どもたち。まるで小さな俳優さんのようでした。自分を表現することが楽しいこと、自由な表現を受け入れて認める大切さを学びました。



会場の看板や服を分担して作成している様子。



ファッションショー当日と、新渡戸祭当日もブースを用意して、お客さんを迎えました。





新渡戸文化の子どもは旅して育つ スタディツアー

新渡戸文化学園では小中高を通して「旅は絶好の成長機会」ととらえて新たな取り組みをしています。
小学校では2022年に6年生、2023年に3・5年生の宿泊行事をリニューアルしました。
旅の共通点は2つ。「一貫して考え続ける問いがあること」、「旅の中で選択肢があるということ」です。

旅のテーマ 人と言葉に 出会う旅

6年生が訪問するのは岩手県大槌町。大槌には東日本大震災を経ても暮らし続ける人も、別の地から移住してきた人もいます。そんな素敵な方々と出会い、一人ひとりが何を感じるのかを探究するのがこの旅の醍醐味。子どもたちは常にポケットサイズの言葉ノートを持ち歩きながら、大槌の人々と出会い、共に体験をし、語り合います。出会う人も言葉も、人それぞれ。旅の終わりには、ノートは自分の琴線に触れた言葉でいっぱい。全員でぞろぞろ歩くことをしないこの旅は、一人ひとりの心に一生刻まれる4日間。新渡戸らしい象徴的なスタディツアーです。



旅のテーマ 五感で 感じる旅

「旅で育つ新渡戸文化」の序幕である3年生のテーマは、「五感で感じる旅」。東京都あきる野市で、野菜の収穫をして大地の恵みを感じ、ジリジリする太陽の熱を受けながら冷たい川で遊び、夜は炎の柱を囲んで友だちと盛り上がる。

旅の準備や当日の運営も、行うのは子どもたち自身です。大人の決めたとおりに連れていかれる旅行ではなく、あくまでも自分たちで選び取るのが、旅。「旅って楽しい！」という体験を、思う存分していきます。



旅って
楽しい！

私たちに、しあわせな学校をつくろう 全校ミーティング

ひとつのテーマについて、学校全体で考えていく時間が「全校ミーティング」。まずはひとりで考え、クラスの人々と意見を交わし、学級・学校全体へプレゼンする。その流れの中で、相手の意見や気持ちをくみ取りながら合意形成していく文化をつくり、「未来は自分たちでつくることができる」という気持ちを育てます。

① テーマを決める

1年生から6年生までが自分ごととして考えることができるものや、日頃疑問に思っていることを募集して、代表委員がテーマを決めます。

- 「学校にあったらみんなが楽しめるもの」とは？
→リラックススペースやソファを設置した
- 「学びにあった筆記用具」について考えよう
→以前より自由度が高まった
(目的の学びに合っているのかは、今後も見直しを続けていく予定)
- 「どうやったらみんなが楽しい「私服デイ」になるだろう？」
→年間3回の私服デイを実現。
お互いにポジティブな声かけをし合う至福の1日に！



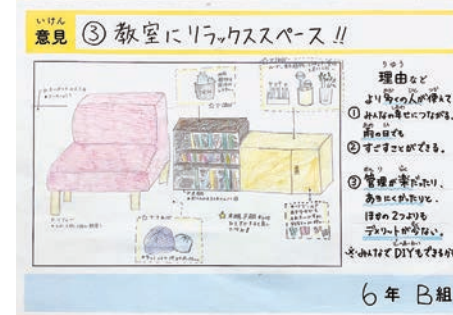
② 話し合い

学級での話し合いは多数決に頼らず、全員で新しいアイデアを作り出したり、新しい価値に気付く場として設定しています。その際、ハビネスクリエイターとして「自分もみんなも幸せになるには？」という視点を大切にしています。話し合ったことはポスターと動画にして発信します。

全校に発表を
配信！



各クラスの
意見を
まとめて掲示



③ どうするかを決める

子どもたちや保護者の方がよく通る場所に、「全校ミーティングボード」が設置されています。今どの段階なのか、どんな意見が挙がっているのかが、ひと目で分かるようになっており、各クラスのプレゼン動画を見ながら最終的に自分の意見を決めて意思表示をします。



みんなでものごとを決める、意思決定のプロセスを学びます。



決めたことが形に…！

最後に、にとべサミットで対話をして最終決定をしていきます。運営は代表委員会のメンバーが中心となり、各クラス代表や教員の代表が集い、保護者からの意見も交えて方向性を決めていきます。その模様は全校に同時中継されます。

「私服で学校に来てもいい日をつくりたい」という私の提案が形になったよ！





アフタースクール 放課後は子どもが主役



\ point 1 /

放課後の
過ごし方は
自分で決める



アフタースクールは自由な時間。友だちと遊ぶ、学習に取り組む、おやつを食べる、好きなプログラムに参加する、ものづくりに挑戦する、何もしないでボーっとする。多様な選択肢の中から放課後の過ごし方は自分で決めます。



\ point 3 /

安心して
子どもを預けて
ください

アフタースクールでは、かゆいところに手が届く、徹底したペアレンツサポートを行っています。それは毎年保護者の声を拾い、保護者の方が安心して働けるよう、改善を重ねてきた結果です。



安心・安全の
お知らせと送り迎え

入退室はメールでお知らせ。17時半以降は最寄りの駅・バス停までスタッフが送迎します。

夜7時まで開室

毎日夜7時まで開室。保健室にも看護師が夜7時まで常駐。急な発熱や怪我也も安心です。



台風・大雪など
学校休校でも開室

長期休暇時は朝から開室。悪天候時による臨時休校時でも朝8時から必ず開室します。

おやつと手づくり昼食

おやつは毎日提供。長期休暇時も手づくりの給食を提供。お弁当は必要ありません。



\ point 4 /

学校施設を
フル活用



放課後はメインルーム3つに加えて体育館、ガーデン、音楽室、教室など学校施設全体を使って過ごします。

\ point 5 /

子どもを
「主語」に考える
スタッフ



アフタースクール専任の常勤4名に加えて、学生から主婦まで約30名の多様なスタッフが働いています。

\ point 6 /

充実の
長期休み



夏休みなど長期休み中は毎日がイベント。その道のプロや企業とのイベント、美術館や大学などへの外出も。

\ point 2 /

目指すのは
子どもの自律

自律の第一歩は「時間管理」。自分で時計をみてプログラム場所に移動したり、帰宅の準備をします。大人に依存することなく、自分で放課後の過ごし方を組み立てていきます。



多彩な
プログラム

習い事を、すべて学校内で

20種類以上の習い事を用意。その中から自由に選択して参加できます。
変更もいつでもOK。学校内で習い事ができるのは移動がなく安心です。
専門性の高いプロの講師が各プログラムを楽しく盛り上げます。

剣道

週4

講師/目黒雅也
剣道六段

剣道の基礎、武道ならではの礼儀作法を身につけます。中高生と一緒に練習します。



サッカー

週5

講師/NPO法人Sports Unity
毎月一つ課題を設定して技術の向上を図ります。週末は新渡戸SCの活動もあります。



バスケットボール

週2

講師/青野和人
Bリーグ 越谷アルファーズGM
チームプレーを大切に、低学年はボールに慣れること、高学年は実践的な練習を行います。



チアリーディング

週3

講師/折原裕子
恵泉女学園高校
チアリーディング部 BLAZERS 出身
仲間と協力し合い助け合う団体スポーツです。大会に出場するクラスもあります。



卓球

講師/国広哲弥
全日本マスターズ30代第3位、
日本卓球協会公認卓球五段
最近、人気急上昇中の卓球。マシンも導入し、基本からしっかり練習します。



空手

講師/此木洋子
日本武道傳 勇心門 教士六段
礼に始まり礼に終わる。まず礼儀作法から、そして基本をしっかりと身につけ、容を習得します。



体操

講師/小野寺崇志
マット運動、鉄棒、縄跳び、跳び箱など、さまざまなことへ挑戦。基礎体力と物事を諦めず最後まで挑戦する姿勢を育てます。



ダンス

週2

講師/RINA
プロダンサー、パーソナルトレーナー
低学年は音楽に合わせる楽しさを学び、高学年はチームとして難しい振り付けに挑戦します。各種発表会にも出場します。



バレエ

講師/SHOW BALLET JAPAN
「毎日が発表会！」がコンセプト。バレエの基礎や品格を身に付けながらバレエの代表的な音楽で踊る時間も取ります。



マンガ

講師/風屋ロッサリ
漫画家「もち」アシスタント
マンガに必要なストーリーやキャラクター作り、つけペンを使用した作画技術習得などに挑戦します。



アート

講師/小林真衣子 もみじやま絵画教室主宰、榎本蓉子 陶芸家、桜岡みゆき 画家 ほか
1年生は絵画・造形、2年生以上は陶芸・絵画・刺繍などさまざまな分野に挑戦します。



ピアノ・フルート・ヴァイオリン

講師/鈴木久仁子、春日玲子、田中秀子、大橋英莉
個々の進度に合わせたレッスンで、初心者でも気軽に始められます。発表会も予定しています。



プログラミング

週2

講師/STEMON、ProgLab
低・中学年はSTEAM教育をメインとしたものづくりでプログラミングの基礎を、高学年になるとレゴを使った課題解決型ロボットに取り組みます。



英語

週2

講師/宮田多美子
聞く・話す・読む・書くの英語4技能を学ぶ自立型英語学習「Lepton」と、英語の本や歌、ゲームで学ぶ「アクティビティ」の2種類を用意しています。



そろばん

週4

講師/菅野明成
珠算五段、暗算六段
そろばんを通じて、一度身につけると一生使える計算の基礎・数値感覚を養成します。



書道

講師/田中葉奈
毛筆書写技能検定最高位一級
「字に上手い下手はない」「書道は自己表現の一つ」という考え方。作品展へも出展します。



ブレVIVISTOP

週2

講師/VIVISTOPスタッフ
レーザーカッター、3Dプリンターなどのデジタル工作機械の使い方を学び、「ものづくり」を体験します。



科学

講師/三ツ井結子 工作キット総合メーカー株式会社サンワ
独自企業の魅力的なツールを使いながら実験や工作を通して、身近な「ふしぎ」をみんなで考えます。



プロジェクト

子どもたちの「やりたい！」から生まれたプロジェクト。すべて本気の取り組みです。



研究者のたまごプロジェクト

「四つ葉のクローバーはなぜできるのか」「スペインオオヤマネコの生態を調べる」など、各自の興味を深掘りするプロジェクト。



マイクラカップ

マイクラフトを使い、SDGsのテーマに沿ったフィールドをみんなで協力して制作。本気で大会出場を目指します。



カフェプロジェクト

保護者のお迎え時の待ち時間に、お菓子や飲み物を提供。高学年を中心に仕入れ、接客、メニュー開発など本格的に運営。

受賞

子どもたちの「好き」や「得意」を続けた先に、活躍や発表の場があります。

大会

チアリーディング
USA Regionals 2023 東京大会
プログラミング
WRO JAPAN 2023
第10回宇宙エレベーターロボット競技会
「全国大会3位」

サッカー（新渡戸SC）
中野区少年サッカー連盟
2023年度会長杯
剣道
中野区剣道大会

作品展

マイクラフト
マイクラフト
第5回Minecraftカップ
書道
全国書道コンクール
金賞、銀賞

発表会

新渡戸祭
ダンス、チアリーディング
アフタースクール発表会
アートスタディ DAY
スポーツ DAY

彩りのある学校生活や行事

日常の学習の時間以外にも、給食・クラブ・学校行事を大切に、子どもたちがさらに成長できる機会にしています。「自律」をキーワードに、子どもたちが選択・決定することを心がけています。



にとべごはん

日本初の農学博士でもあった新渡戸稲造の理念に基づき「食」にはこだわりをもって、私たちは給食を「にとべごはん」と呼んでいます。私立校の中でも数少ない手作り自校給食で、子どもたちの健やかな身体と豊かな心を育てています。



にとべごはんのポイントは 3 つ

Point 1 手作りのだし

添加物・化学調味料は一切使用せず、手作りのだしを使用します。和食のメニューでは、かつお節や煮干し、だし昆布でだしをとり、洋食・中華料理献立では、鶏ガラや豚骨を香味野菜とじっくり煮込んでスープをとります。



Point 2 こだわりの素材

春は筍、夏は色とりどりの夏野菜、秋はきのこ、冬は白菜やほうれん草など野菜以外にも旬の食材を多く取り入れ、食事から季節を感じることができるよう献立を毎日考えています。

Point 3 和食の献立

日本の食文化を守っていききたいという思いから、月の7割を和食、月の3分の1は魚を主菜とした献立にしています。



子どもたちも大好きな美味しさ

好き嫌いをなく食べるのを楽しめることは人生の宝物。子どもたちから好評なレシピが保護者の間で話題となり、本校の給食レシピ本が発売されています。

監修：学校法人 新渡戸文化学園 著：鮎子奈緒美 新潮社刊



にとべ自慢の特別レシピを考案！

スターシェフとのコラボごはん

本校では、和洋中の料理の世界で名を馳せている「スターシェフ」が考案した、にとべごはんを提供するスペシャルデーも複数回開催しています。また、にとべごはんの魅力を知っていただく機会として、「保護者向けにとべごはん試食会」もあります。



szechwan restaurant 陳井上和豊氏

SPICE TOKYO シャンカール・ノグチ氏

てのしま 林 亮平氏

鮎 玉かがり 天ぶら 玉衣 高野竜一氏

Wakiya 小澤善文氏

Casa di camino 川上春樹氏

年間行事



入学式 6年生が新入生一人ひとりを名前付きプラカードでお出迎え。



遠足 たてわりグループでクイズラリーやオリエンテーションを楽しみます。



スタディツアー

3年生はあきる野市（東京都）、5年生はみなかみ町（群馬県）、6年生は大槌町（岩手県）へそれぞれ旅に出ます。4年生は冬にスキー教室へ出かけます。



新渡戸祭
スタディフェスタ
自分たちの学びを他学年や大人の方々にアウトプットします。

冷たくて気持ちよかった！



水パーティー

夏には生活科の学びとして、芝生のグラウンドで水遊びを満喫します。



小学3年生が企画・実施するみんながハッピーになる一日

低学年と高学年に分かれて行うスポーツデー。ここでも主役は子どもです。低学年は3年生が主体となって「みんなのハッピーを生み出す」をゴールに、競技や演技に参加するだけでなく、企画や運営も子どもが行います。「全体企画」「応援団」「競技作り」など、自分たちで考えた6つのチームのどれかに所属してスポーツデーを支えました。高学年も6年生がリーダーとして運営を行うのはもちろん、演目についても自分たちだけで練習予定を立てて取り組んでいました。

noteでもっと詳しく！



私たちの、私たちによる、私たちのためのスポーツデー



当日の進行は子どもたち自身。先生はあくまで伴走者として支援します。



司会の文章だって自分で考えます。堂々と説明できました。



「感動係」は、1・2年生にサプライズでメダルをプレゼント！



6年生は自分たちで声をかけあい、動画を見ながら練習を重ねました。



1日の過ごし方

1年生編

ようこそ新渡戸文化小学校へ！今日はわたしたち1年生が学校でどんな1日を過ごしているのか紹介するよ！



おはよう♪

① 朝登校

おはようございます！朝は校長先生や警備員さんが出迎えてくれるよ。ぼくは毎日じゃんけんをするのが楽しみなんだ。

② 1・2時間目

担任による基礎学習
【国語・算数】

毎日担任の先生の国語・算数の授業があるよ。私はみんなで音読したり、自分の考えをホワイトボードで発表したりするのが大好き。

担任による基礎学習
【国語・算数】

担任による基礎学習
【国語・算数】

③ 3時間目

専科授業
【図工】

他の教科はほとんど専門の先生が教えてくれるんだ。ぼくは図工の授業で浮世絵を描いたよ！

浮世絵
かっこいい！



④ 休み時間

教室、体育館、ガーデン、グラウンド、図書室…好きな場所で過ごすよ。時々中高校生のお兄さん・お姉さんとも遊ぶんだ。



たっぷり遊んだら
自分で時間を見て
教室に戻るよ！

⑤ 4時間目

にとこみゆ
【異学年交流活動】

1～6年生が混ざり合ったたてわりの班があるよ。みんなでミッションクリアを目指すゲームをしたり、一緒に道徳の授業を受けたり、にとべごはんを食べたりする楽しい時間だよ。

アフタースクールで
仲良くなったお兄さんと
同じ班でうれしい！



⑥ 給食・掃除

私はにとべごはんが大好き！だって毎日いろんなメニューがあって、苦手な魚や野菜もふしぎとべろりと食べられちゃうの。準備や片付け、そして掃除は自分たちでやるよ。



最初は6年生が
給食・掃除のことを
教えてくれたよ！



⑦ 帰宅orアフタースクール

自分で帰りの用意をしたら、友達と電車やバスで帰る子もいるし、アフタースクールで楽しい放課後過ごす子もいるよ。みんなまた明日ね！

さようなら～！



⑧ 5時間目

専科授業
【体育】

体育の時間は思いっきり友達と体を動かすよ。体育館が2つ、天然芝のグラウンドがあるから、いろんなことにチャレンジできるんだ。



先生のご紹介

新渡戸文化には、公立小学校や他の私立校からきた先生、民間企業に勤めていた先生、塾からきた先生、ずっと新渡戸文化で働いてきた先生など、多様な先生がたくさん在籍しています。得意分野もカラフルな「教育デザイナー」*が、子どもたちの成長に伴走します。

友達を大切に、自分のことも大切にする…。そんなハビネスクリエーターが育つことを目指しています。



木下サリ 先生

当校勤務10年以上。学校生活の基礎基本を伝えます。前職も私立校、自身も私立校出身と、私学ならではの品格を体現する先生。

自然の恵みを感じたり、友達と一緒にわくわくしたり、新渡戸文化だからこそできる学びを子どもたちと一緒に創っていきます！



加藤千尋 先生

「花まる学習会」で講師として活躍してきた異色の経歴の持ち主。1年生担任の傍ら、現在も週に1日花まる講師を勤める「二刀流先生」。



堤坂 愛 先生

自身も本校出身で、今は3歳の愛娘を育てるママ先生。育児短時間勤務ですが、担任チームで連携して2年生クラスを受け持っています。

ここに通い、この先生になった私だから「新渡戸文化は第二の家族」と胸を張って言えます。一緒に子育てしていきましょう！



鼻崎吉則 先生

4年生の担任を務める傍ら、大学院に通う研究者でもあります。学び続けるその姿勢は、子どもたちにとって学びの手本です。

「知れば知るほど世界は広がる」。学ぶことの楽しさや喜びを、子どもたちと分かち合っていきたいです。



松井春菜 先生

メーカー企業の品質保証部を3年勤めた後に、先生へ華麗なる転身。子どもの成長に対する想いは、誰にも引けを取りません。

新渡戸文化は子どもも大人も「やってみよう！」に溢れていて、挑戦を楽しむ毎日が私にとっても学びとなっています！

*「一方的に教える人」ではなく、学びとともにデザインしていくという想いを込めて「教育デザイナー」という言葉を使います。

施設



教室

コンセプトは「温かくてシンプル」な教室。床やドアなどは木目を生かしたナチュラルな雰囲気、教室の背面は淡いブルーやグリーンで彩られています。子どもたちにとって、自然とリラックスして笑顔になるような空間になっています。この教室のリフォームには、子どものアイデアが取り入れられています。木目調の床やロッカーも、色を与える心理的効果について子どもたちが調査した成果が採用されています。



ガーデン

中央のクスノキに見守られ、人工芝の上をかけまわったり、寝っ転がったり。大人気のスポット。



グラウンド

全面天然芝で、思いきり走り回れます。(学園全体で共有)



Nitobe theater

学校の中にある「映画館」です。大スクリーンに資料を映し、プレゼンすることもできます。



大体育館

冷暖房完備。どんな季節や天候でも、思い切り体を動かせます。



ボルダリングスタジオ

2021年新設。難易度がさまざまで、挑戦しがいがあります。

VIVISTOP NITOBEB

子どもたちが創ってみたいモノ、挑戦してみたいコトに取り組める場

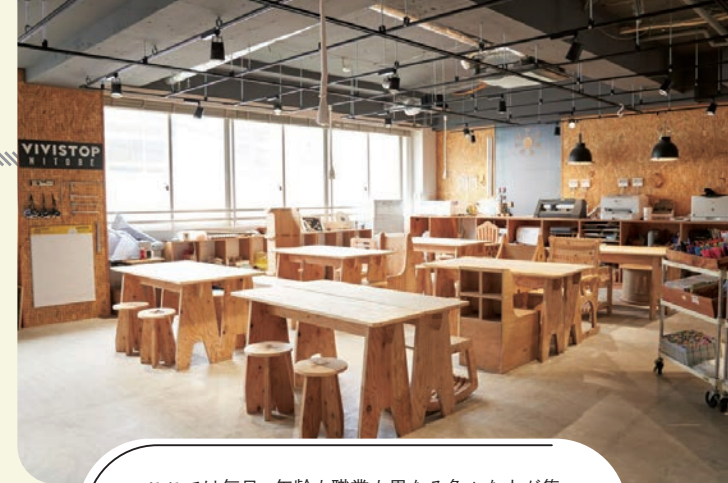
「クリエイティブ・フィールド」、VIVISTOP。学校の中には世界で初めて2021年4月に新渡戸文化学園内にフルオープン。のこぎりで木片を加工したり、自分で設計した部品をレーザーカッターで切り出したり、最新のテクノロジーツールを使ってロボットをつくったり。VIVISTOP NITOBEBにはさまざまな設備やしかがそろっています。授業の時間はみんなで社会とつながるクリエイティブなミッションの達成を目指す。放課後の時間は自分が望んだものを、大人とも協働しながら自分のペースで生み出していく。時間、教科、学年を越えて、子どもたちの想いがかたちになります。



<https://www.nitobebunka.ac.jp/vivistop/>



https://www.instagram.com/vivistop_nitobe/



ここでは毎日、年齢も職業も異なる色々な人が集まって、アイデアが飛び交い、さまざまなモノ・コトが生まれています！今日は何が起きるかな！



／ つくるって楽しい！ ／



新渡戸キッチン

食育で高評価をいただく本校自慢のキッチン。



ブックフォレスト

階段やクッションがあり、好きな姿勢で本に夢中になれます。



多目的ルーム

学年集会やスクリーンを活用した授業、グループワークやレクリエーションなど多様な使い方ができます。

安心・安全のために

登下校メール



SuicaやPASMOを使った登下校メールシステムで、児童の登校・下校時刻が確認できるメールがご家庭に届き、大きな安心材料となっています。児童の安全を守るため、正門前や通路には警備員が常駐。緊急時の児童の位置確認や連絡用に携帯電話の所持も許可制で認めています。

保健

子どもの登校時間から、アフタースクールが終わる19時まで、子どもを見守る学校の看護師が在駐。保護者が迎えに来るまで安心して過ごすことができます。

メール連絡網システム「マチコミ」

学校と保護者相互のメール送信、欠席連絡など、情報共有・連絡ツールとして使用。連絡をすぐ受信し確認することができるので、非常時にも臨機応変に対応できます。

カウンセリング

毎週火曜日・木曜日・土曜日にスクールカウンセラーが校内に在駐。小学校と連携して子どもたちを見守っています。予約をし、いつでも相談することができます。

小児科オンライン

体調が悪いけれど、病院に行けない時などに、現役の小児科医にオンライン相談ができます。小さなことにも丁寧にアドバイスしていただける、安心のシステムです。



制服

自分で選べる！ 組み合わせを工夫できる制服

2017年にフルモデルチェンジ。品位と風格を漂わせるグレーの生地を用いて、都会的なセンスを感じさせるデザインに仕上げました。暑い時期は白や紺のポロシャツ、肌寒い時期は赤やグレーのセーターなど、コーディネイトを自分で選べる工夫が好評です。女子はパンツスタイルも選択可能。ご家庭で洗濯できる素材ですので、子どもたちは何事にもアクティブに取り組めます。



新渡戸文化学園は、 新たな次の100年に向けて 挑戦を始めています

1927年に創立された新渡戸文化学園は、2027年に創立100周年を迎えます。

国際社会で活躍された新渡戸稲造先生と森本厚吉先生の
建学の精神を受け継ぎ、人格教育に力点をおく、あたたかな学園運営をまいりました。

国際性や多様性、持続可能な開発目標（SDGs）など、
変化の速い時代に合わせて、さらに変革を続けてまいります。

次の100年に向けて、日本中の学校が目標にする教育機関に進化することを目指します。



初代校長
新渡戸稲造 博士
(1862～1933)

旧五千円札の肖像として、また、日本の精神文化を流暢な英語で紹介した「武士道」の著者としても知られている新渡戸稲造博士。女子経済専門学校（現：新渡戸文化学園）の初代校長に就任した際に語った、「親心をもって教える教師による愛の学校でなければならぬ。」という言葉を受け継ぎ、生徒一人ひとりの人格を尊重した教育を実践しています。



創立者
森本厚吉 博士
(1877～1950)

優れた学者として政府の要職を歴任し国際的にも著名であった新渡戸稲造博士を校長に招いたのが、札幌農学校時代の教え子である森本厚吉博士でした。森本博士は「男女が同じように働かねばならない」という信念のもと、「実際に役立つ教育」という教育目的を掲げました。新渡戸博士の「人格教育」と森本博士の「実践教育」が融合してできたのが本学園です。



新渡戸文化中学校

学園が最上位目標として掲げる「Happiness Creator」を目指して、自分と世界のしあわせをつくり出すための学び。それを実現するために、新渡戸文化中学校では「思考を支える豊かな学力」「自ら問いをたてて考え抜く課題解決力」そして「リアルな社会とつながる行動力」を育成するカリキュラムを展開しています。

少人数ならではの強み、そして充実した施設と魅力的な教師陣は生徒たちの学びに対するモチベーションを一層高めています。



新渡戸文化高等学校

中学校同様、小学校と同じキャンパス内にあり、3つのコースを備えた普通科課程の学校です。それまで培ってきた自律型学習者のマインドは主体的に考え行動し、責任をもって社会変革を実現していく力“学びの羅針盤”へと成長します。それぞれが幸せにしたい世界に向かって知性を磨き、スキルを身に付けます。

専任教諭に加え、コースに合わせた併設短大教授やプロフェッショナル講師陣による授業が生徒一人ひとりの進路を豊かにひらきます。

自分のやりたいことを
極める3つのコース

探究進学コース
(医療系・理系・文系)
美術コース
フードデザインコース



新渡戸文化小学校 校長
杉本竜之

自ら学びに向かう力を持った
「自律型学習者」の育成を

自分なりの考えを持ちつつ、多様な他者と共存・協調し、問題や課題を発見、解決し、主体的に行動できる。

これはさまざまな文化や価値観が混在する社会を生き抜くために必要な力です。このような力は、基礎基本の学習内容を確実に習得し「自律型学習者」として学び続けることによって身につけることができます。

そのために私たちは、本校の伝統である「どの子も我が子」の精神で一人ひとりの子どもたちを丁寧

未来を共に創るパートナー NITOBE FUTURE ADVISER

新渡戸文化学園の理念に共感し、教育活動へのアドバイスや社会にその取り組みを発信してくれる心強い応援団です。

アドバイザーの方々からは生徒や保護者に向けた特別授業や講演も予定しています。ご期待ください！



大空小学校
初代校長
木村泰子さん



花まる学習会代表
NPO 法人子育て応援隊
むぎみ理事長
高濱正伸さん



慶應義塾大学大学院
システムデザイン・
マネジメント研究科 教授
前野隆司さん



エシカル協会 代表理事、
ユネスコ 広報大使
末吉里花さん

コモンズ投信株式会社
取締役会長 兼 ESG最高責任者
渋谷 健さん
明蓬館高等学校 学校長・理事長
日野公三さん
FutureEdu 代表理事
竹村詠美さん
株式会社 morich 代表取締役
森本千賀子さん
ラーネット・グローバルスクール 代表
炭谷俊樹さん
Think the Earth 理事、
多摩美術大学 客員教授
上田壮一さん
日本パラリンピアンズ協会 会長
大日方邦子さん

ほか、多数！